

山梨県 都留市役所 様

議事録作成時間が半減し、記録の正確性も向上。AI 要約機能を活用し、業務の大幅な効率化を実現。



導入前の課題

- 会議の発言量や専門性が高まり、正確な議事録作成に多大な時間と労力がかかっていた
- 記録の正確性が記録者のメモに依存し、客観性の担保が難しかった

導入後の効果

- 丸1日かかっていた議事録作成が2～3時間に短縮され、大幅な効率化を実現
- 情報の正確性が向上、AI 要約機能の活用によりさらなる効率化も

議事録の作成に丸1日かかり、正確性は人に依存していた

これまで、議事録はすべて手作業で作成していました。発言量が多く、専門的な内容も含まれるため、正確に記録するには担当者の集中力と労力が必要で、1件につき約6時間、つまり丸1日かかることもありました。月に複数回の会議がある場合もあり、担当者の負担は非常に大きく、業務の効率化が急務となっていました。また、記録の正確性は記録者のメモに依存していたため、客観性を保つのが難しいという課題も抱えていました。

作業時間が半減し、正確性も向上

2025年6月に「ScribeAssist」のトライアルを実施した結果、自動で文字起こしされるため、職員は修正・校正に集中できるようになり、作業効率が大幅に向上しました。利用者アンケートを通じて効果を検証したところ、「議事録作成にかかる時間が従来の6時間から2～3時間に短縮された」との声も寄せられました。業務の効率化だけでなく、記録の正確性を担保するうえでも十分な効果があると判断し、「ScribeAssist」の導入を決定しました。今後は操作研修や事前指導を通じて職員の理解度をさらに高め、導入効果を最大化していきたいと考えています。

AI 要約機能機能も活用

現場からは「メモを取りながら使うことで、さらに時間短縮になる」「耳で聞きながら文字起こしするのは大変だが、自動でテキスト化されると修正だけで済むので楽」「自動で概要・決定事項・ネクストアクションが抽出されるので、要約議事録として非常に優れている」といった声が上がっており、実務に即した効果を実感しています。



▲ 企画課 企画担当 佐藤様、
企画課 デジタル推進担当 野崎様



▲ ScribeAssist を利用している様子



山梨県 都留市役所

サービス	ScribeAssist
業種	自治体・官公庁
利用シーン	社内打合せ
導入	2025年9月

録音のコツ

マイクの運用方法によって、音声認識の精度が大きく向上します

		会議 (大人数)	会議 (少人数)	面談	セミナー
IC レコーダー		×	△	○	○
グースネック マイク		○	—	—	○
ハンド マイク		◎	△	△	◎
バウンダリー マイク		○	○	○	—



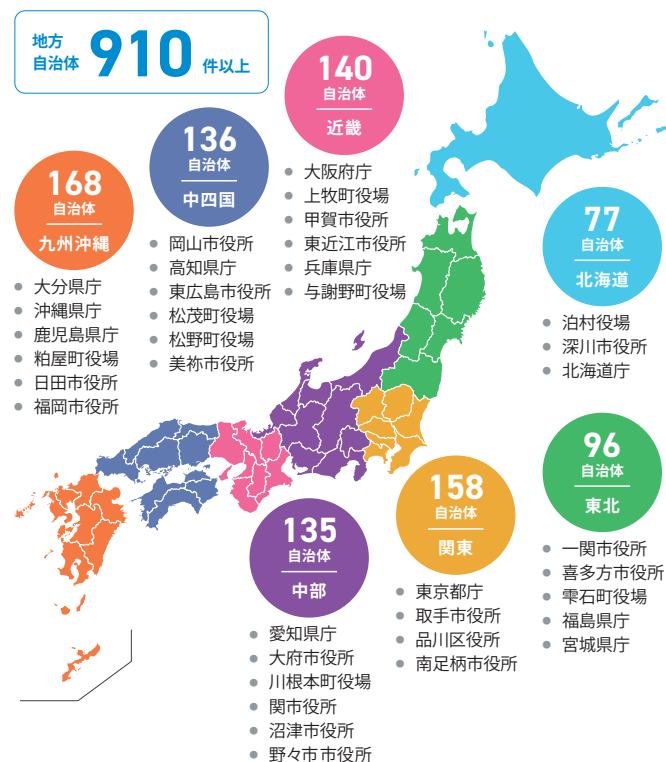
マイクと口元が近いと○



マイクと口元が遠いと×

導入実績

2025年6月現在／議事録ソリューションの導入実績



製品情報

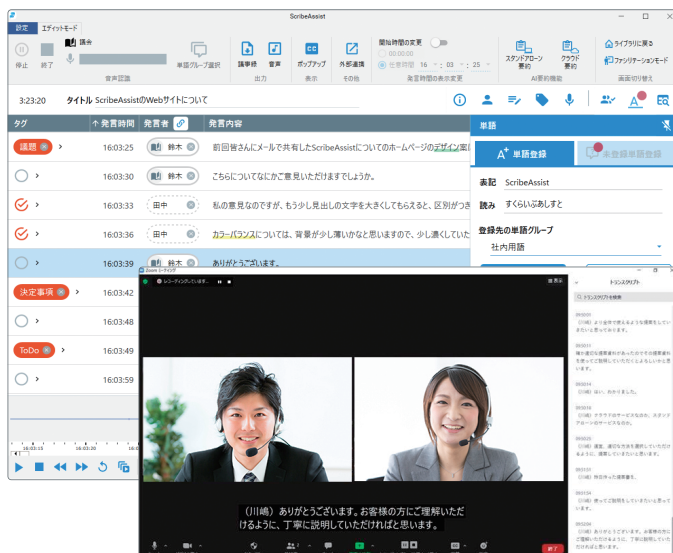


AI音声認識とAI要約で 議事録作成を自動化します

ScribeAssist（スクライバアシスト）は、スタンドアローン型のAI議事録作成アプリケーション。インターネット接続なしで動作するため、機密性の高い会議でも安心して利用できます。

AI音声認識AmiVoice®で高精度に文字起こししたら、オフラインでも動作する生成AIが議事録形式に自動で要約。議事録作成の効率を大幅に向上します。

リアルタイム認識、ファイル認識の両方に対応しており、Web会議のみならず、テレワーク、対面での会議や商談・打ち合わせ、経営会議、セミナー・講演会、研修、インタビュー、面談など、様々なシーンでの議事録作成業務の効率化を支援します。



製品詳細ページはこちら

